

首藤傳明先生講義録 3

第16回弦躋塾セミナー（第93回弦躋塾） 平成13年9月8～9日

初心者のための鍼灸治療学（3）

はじめに

えー、首藤でございます。あの、非常に台風の影響で雨が降りまして、うっとうしいところを大変たくさんの先生方に出席いただきましてありがとうございます。大分だけでなく、県外の遠くからお見えの先生方もたくさんいらっしゃいます。



講義中の首藤先生

16年前に、この弦躋塾を始めたわけですが、まあ、その時は私の身体の調子です、あまり良くなく——まあ今でも良くないですけども。今日は良いけど、明日悪いというふうに非常に不安定な状態ですが——その時も非常に悪かったですね。それでもまあ若手が、今は中堅になっていますけども「先生、勉強会を開こう」とさんざん言われましたので、「じゃ、まあ開くか」と。ただしその、喋るのが苦手ですから、いつまでこの喋りが続けられるのか、ネタが切れるんじゃないかと思ひましてね。そうすると集る人も少なくなるんだろうと。で、5人になったら止めようと前もって約束をとりつけました。ところが当時45名で発足したんですが、今が70名位ですね、出たり入ったりと。で、まあなかなか止められそうにないんですが、ハワイのセミナーによくついて行く芝原さんに相談したことがある、「俺はもう身体がきついきん、弦躋塾止めようか」と。で、「弦躋塾だけはやめんほうがいいで」、「ならまあ、死ぬまでやるか」ということで、口が喋れる、足が動ける間は弦躋塾をやろうというようなことに決まったわけでした。これだ

けのですね、盛会になったというのもやはり弦躰塾の先生方、それから受講される先生方
のですね、おかげだと思っております、こちらからお礼を申し上げたいと思います。

で、この弦躰塾16年ですが、私は開業して今年で42年になるんですね。で、10年
間結核の療養をした後の身体でしたからですね、非常に弱柄でして、これ、いつまで続く
のかなと思いましたが、なんとなく今日まで来ました。あまり大病することもなく、
死ぬこともなく。で、私より元気のいい人がポコポコ逝くわけですね。同級生でもそうで
すよ。去年、「二一会」という同級会がありましてですね、九重に行ったんですが、その時
も私は、島田会長の後を引き受けて会長ということで、もう何か考えると頭がクラクラし
てめまいばかりおこす。で、真っ青な顔して出て行ったんですけど、「大丈夫かい」と言
って心配してくれた人がですね、1週間後にポコッと死んだ。それから3人死んでいるん
ですね。あの、いつも言ってるように老子の説にね、「健強な者は死の徒、柔弱な者は生
の徒」とある。弱柄のほうがいいんだというのは、これは反面真理ですよ。

そういうことで42年間、来たわけですけども、まあ最初は流行らなくてですね、困
った。で、その時の話を『医道の日本』に書いてくれということで、書く事になっていま
すが。(平成13年12月号収録)で、患者は来ないしね、技術も無いです。学問も無い。
で、今みたいに喋れないんですよ。喋りが下手というよりも喋れないものですから、患者
の説明も出来ないということで大変困ったわけですけども。それでも、この鍼灸でおま
んま食わなきゃいけないので、いろんなことを勉強しました。喋る勉強もしましたしね、
人前で喋れるように。それからその、社会学ですかね。この社会の学問というものが一つ
も無かったわけですから。それで、ひとつひとつ勉強して行って、だんだん患者が増えて
行ってね。1日5人とか。最初はまあ、1人か2人あればいいほうなんです。全然無い日
もありますからね。それが5人になり、10人になり。えー、今はですね、多い時は50
人位するんです、1人で。で、もう歳とって出来んから40人に決めましょうと行って切
ってあるんですけどね、それでもそれを超すということもあるんですね。だから、こうい
う身体で、田舎のほうで、これだけ出来るというのは、才能が無くてもですね、なんと
か一生懸命やれば出来るということを私は経験したわけですね。

ですから、私は非常に器用だと皆は思ってるんです。で、頭がいいと思っているんです
けど、全然そんなことないですね。頭は悪いし不器用なんです。で、今はまあ鍼をね、4
0年やっていますんで自信がありますけど、鍼以外は全く不器用ですね。もう、家の母ちゃ
んなんかくされ言う、「安部さん見てみな、何したって上手いんで」と言って比較されるわ

けですけれども。それでもね、鍼っていうのは専門ですからね。で、上手にならにゃいかんということで一生懸命研究したおかげで、まあ上手いと言われるようになったと。だからまあ皆さん方、私よりはうんと頭がいい。ですからその、私が出来たことで皆さんが出来ないはずがないんですね。まあ、今は不況だと言われます。どこでも不況ですね。で、患者さんも言うんですね。「こげな仕事のねえ時は、まあ先生無かったわ」と。それでも私のところは、まあそんなに影響はないということなんで、皆さんもひとつ真剣になればね、必ず流行りますよ。本物ならば流行るんですね。そのまあ、流行る秘訣をちょっと今日、明日、なにか機会があればお話しようかなというふうに思っておりますけれども。まあ今日は講義の時間じゃなく御挨拶ですから、このへんで止めますが、今日、明日、金古先生をお迎えしてのセミナーでございますので、ひとつ楽しく勉強していただいでですね、皆さんとの触れあいを大事にしたいというふうに思っています。ありがとうございました。

ちょっと時間が遅くなりましたが、今日は初心者のための鍼灸治療学ということで、今回は3回目になります。で、8月の2日にアメリカのボストンにおります桑原先生という方から、経絡治療夏期大学の講習に見えたついでに私のところに生徒さんと一緒に勉強に来たんですね。で、2日の11時頃に着いたんですが、日本的なところを観たいというんです。まあ時間があれば国東半島の六郷満山をご案内したいなと思ったんですけど、時間が中途半端なので、国宝で唯一の石仏という臼杵石仏を見に行きました。そのあと武家屋敷を見学し、夜は海宴亭で歓迎会を——私の歓迎会ですけど（笑）。で、ボストンにはですね、私はアメリカに第2回目の時にお世話になりました。セミナーでね。その時に芝原さんと藤原さんと村田さんと3人付いて行ったんですね。で、この3人と一緒になりまして久しぶりに乾杯をしたと。

で、翌日3日に私のところに見学しました。3日ほど休みましたので非常に患者さんが多かったです。朝の9時から夜の6時まで見学しましたが、まあその時に私が言ったのはですね、技術よりも流れですね、治療の流れ。私が鍼をして、お灸をすえるパートさんがおるんですよ。で、もう1人うちの母ちゃんが。母ちゃん、灸が上手いんですよ。で、非常にこう喋りまくってね、喋り役に徹しています。で、その3人ですね、間合い、間の取り方、それから患者に対する私の間の取り方、流れというものを会得して欲しいと言ったんです。流れがないとですね、なかなか治療が進まないんですよ。上手いいかないんですね。で、1人でもですね、私に反抗するような気を持ったような患者がくると、もうどうも中断されますね、治療が。だからそういう人には「あなた、私と気が合わんから他所に行きましょうよ」とこう言うんです。そうするとその次は必ず気が合ってますね、ピタッ

といきます。そういうことでね、やっぱり気の世界でありますから、流れということは非常に大事なことです。

で、私がまあ最初にお話しましたように1日に1人か2人やって、それから5人になって10人になってと。で、10人位になりますと非常に疲れてくるんですね。で、慣れてくると、もう大丈夫。そうすると今度は20人やるとものすごく疲れてね。で、それがやっぱり20人克服していきますと疲れなくなる。あとはもう何十人やっても同じということですよ。そこへんになるまでの体の使い方、手の使い方、間の取り方というのは、これは自分で経験してですね、自分で克服していかないと出来ないわけですが、なんとかこの、わざわざみえる患者さんに対して——まあ街中だと「今日はお休みじゃ」というたら、「ならデパートでも行くか」というんですけども、私のところは田舎ですからね。外に出るともう畑がいっぱい。まあ最近ちょっと町らしくなりましたですね、スーパーもコンビニも出来てきました。で、一杯飲もうとか何でも出来る（笑）。その頃はもう畑ばかりですから他所によろ行けない。ですからもう、私をいつも頼みにして来るわけですから、そういう人をどうぞ帰って下さいとね、また来て下さいと言うのは大変申しわけないんで何とか治療してあげたい。で、多くても治療したいというのがありますね。そのためにも要するに、沢山して満足してもらうにはどうすればいいかということで、それは真剣になるんですよ。で、それはツボをどんどん、もういっぱい使ってたツボをだんだん少なくしていくと。で、1本当てるという。それで「氣至る」という言葉が出てきたわけですけどね。で、今は超浅刺で氣至るということをやっていますので。そうすると、見るとなんか簡単だなというけども、中身は結構濃いわけです。それで皆が安心して帰るといようなことですから。このへんはなかなか口では言えないですね。言ったってわかんないですから。皆さんが経験してもらいましょうがないですね。

そういうことで、まあ皆さん安心して帰ったですが、その時に前の晩のですね、懇親会で言ったのは、技術や学問も大事ですけども一番大事なのはその人の心がけですよ。で、アメリカから東京に来て、東京から大分まで来るという、その気持ちだけであなた方はね、成功するだろうと言ったんですよ。そういう、その人のいかなる心をもって治療をするのかということ是非常に大事であろうということを強調したわけがあります。治療というのは半分はそういうことですよ。心ね。心がけだと。まあ哲学と言ってもいいし、宗教と言ってもいいしね。人生観と言ってもいいし。そういうものが基盤になる。ですから政治でもそうなんです。経済でもそうですね。で、政治でもやっぱり政治に対する哲学がないと上手くいきませんね。その点では歴代の最近の総理に比較して小泉総理は上手い

というかね、心があるという感じがします。どうも口先だけではないみたいですね。その、やっぱり心ですね。心があると、なんとなくわかりますわ。それは何かというと「気」です。我々が言う気の世界です。気の世界というのは、一番最初に書いてありますように、「人の生は気の集れるなり」とね。集まれば生となり、散ずれば死ぬんだというね、それは鍼灸医学の根幹ですね。しかし、それだけではなくして、例えばこのお話ですと、私と皆さん方の気の交流があって、初めて話が上手く出来るわけですね。一方的に話したって、それは大学の教授の話しであって、それは気の交流ではないですからね。ですから、この気の交流があると上手くいくと。患者さんの場合でもそうですよ。我々技術家、治療家と患者さんの気の交流が上手く行くかどうか。上手く行くところは流行るわけですね。なんかここ来ても面白くないというところと、「なんとなく先生、ここ来るとほっとするな」とかね、「先生、玄関に入ったら痛みが止まった」とかいうのが気です。そういう柔らかなムードの、治すムードのね、ヒーリングのあるような気を皆さんが作り上げていかなければ。私は42年かけて作り上げたわけですからね。だから「先生、なしやろか」って、「それはやっぱり私が42年かかって作り上げたんだから、なかなか人真似できんで」って言うと、「そりゃあそうじゃろな」と言うんですけどね。そういうもんです。それが気です。だから気というのは非常に大事なものです。皆さんが考えている以上に、普通の人を考えている以上に、私は大事なものであるというふうに思います。これからも21世紀はですね、やっぱり気が支配していく世代だということがわかればですね、あとは応用は自在ですね。そうすると、流行る気を作ればいい。そうすると流行るから。あの、決まってるんですね、これ。

で、もうひとつお知らせをしておきますが、10月ですね、28、29日に日本伝統鍼灸学会の学会が森ノ宮、森先生ですね——もとの大阪鍼灸、あそこが校舎を建て替えましたので、そこで開かれます。各会から10組出まして実技を主体にやると。本会からは芝原先生が出てますね。肩凝りと超浅刺ということでやってもらうんですが、パンフレットがやっと昨日着いたんですよ。で、まだ申込書は月曜日発送するというので、伝統鍼灸学会の会員のところには全部行きますから。もし、入っていない人があって参加したいというときは私のほうに連絡をして下さい。私のほうから送ります。是非、御出席をお願いします。私、会長ですから。あんまり少ないと困る。会場があまり広くないんでね、入りきれないかなという心配もある。いろいろ心配して腹痛いですが、そういうことで是非、御出席をお願いします。

脾胃の働き

前回の復習をちょっとしますと、肺、大腸の働きという、肺の働きですね。気を主ると。それから魄が入っているとね、肺には。これが大事です。それから最後4番目に水道、通調というのがありますね。水はけを主るのは肺の働き。で、これ今日の話のところでもお話ししますが非常に大事なことで、これはあまり知られてないことですからね、ひとつ肺の働きが弱ったなど、肺虚証の時はおしっこが上手く出ないんだと、むくみが出てくるんだということ、頭の中に入れておいて頂きたいということです。

今日は脾と胃の働きですね。で、この脾胃というのは他の臓器と違いまして、古典では一緒に出てくるんですね。「脾胃」と。だから脾と胃は一緒だということですね。で、古典の絵を見ますとですね、こう食道があつて、胃があるんですね。〔胃の図を描く〕この胃の上のほうにこういう絵が書いてあるんですよ。こういうその、レバーみたいなのがね。これが脾だということなんです。で、脾の働きがあつて胃が活動をすると。ですから脾胃と一緒になるわけですね。二つないとうまくない。いわゆる脾は脾というようなものではないということですね。で、脾というのは非常に大事です。五臓のまあ、心というのは別物ですがね、四臓の中で脾が一番中心になるというので、脾を真ん中に持ってきたんですね。一番大事なところを真ん中に。お腹の真ん中ですね。それから周囲に肝臓とか肺臓とか腎臓とかを配置する。で、中国もですね、俺が一番世界で偉いと。一番大事だということ、中華民国、中華人民共和国。あれやっぱ結構ね、自分で偉いと思ってるんですね。だから日本とかね、朝鮮半島とかいったらそりゃあもう、周囲の属国で大したことないわと、そういう感じなんですね。だから大事なことですよ、脾は。

で、食べたものが入ってきますね。そうしますとここで消化が始まるわけですね。で、消化が始まった時にさっと出てくるのは、この前お話ししました宗気というんですね。これはどこ行くかという肺に行くんですね、肺に。で、肺の気になると。魄にもなるんですね。で、もうちょっと下がっていきますと、だんだん消化できてきますね。このへんで出てくるのが営気というんですね。これは澄める気というんですか。ここらへんがちょっと反対じゃないかなと思ってるんですが。営気、営業の営ですね。で、これどこへ行くかという、経脈の中に入って行く。経脈の中に入ると赤くなるんですね。このへんの理屈は理屈でしょうけどね。ただし、この営気、営血というのは自分じゃ動かないんです。で、ここにまあ停滞してしてますね。そうしますとここを通り過ぎていく。このへん（少し下がって）で、また気が出てくるんですね。これが“まもる気”と書く衛気ですね。この衛

気が経脈の周囲にくっつくんですね。そしてこれが血を引っばっていくわけです。だから「血は動かないけど気で動く」という。



脾胃の解説



気の生成

これがまた大事なんですね。だから血だとか瘀血だとか言いますがね、気というのがわかればいい。気を動かせば血が動くわけですからね。血を動かそうって気が動かないと動かない。だから大事なことは、この衛気の気というのが一番大事であって、しかもここでできるわけでしょ、脾胃でできるわけでしょ。脾と胃で気血ができる。で、気血というのは要するに人間の体をかたち作り、それを栄養して病気から守っていくというのは経脈の働き。その経脈の中にある血、外にある気というものの生成は気からできるということですね。これでやっぱり非常に大事だということがわかるわけですね。このへんがわかってないと腰だ頭だと言ってもですね、なかなか根本的な治療にはならないと。で、根本的な治療は要するに脾胃の働きをうまくすると。それでなおかつ、体の局所の治療をやるというのが一番上手な方法ですね。

だから、飯が食えないという人がありますよね。こういう人の病気は治りが悪いですよ。だから私言うんですが、「なかなか治らんよ」と。こっちは死ぬ前ですから言いたいこと言うんですね(笑)。もう、来てもらううち困る(笑)。来んなら困んなとかは思わんですね。来んなら来んでいいわいと、言いたいことを言ってます。だからやっぱり、「そりゃ早う治りやせんで」って言って。「あとう5、6年前来た時は先生、いっぺんで治りよったけど、今度はいっぺんでは治らんわな」と。「それは私の技術が落ちたんじゃないよ。あんたが歳をとったせいでね、自分で治す力が減りよるんです。だから治らない」と。そういうことなんです。だから歳をとると食も細りますから治りも悪いということになるわけで、脾胃の働きをいつもうまくやると。

で、これはまあ、経絡治療学会ではまず中脘に鍼しますわね、で気海に鍼をします。で、これはなんとなくしてたんですね。だからその、教科書をつくる時に私も編集員の一人だったんですけど、「なんか理屈つけにゃ悪かろう」ってね。そしたら岡部先生が「中脘は後天の気を増やす、気海は先天の気を増やす」と。この人は頭良いですね。で、後天の気というのは、この胃腸の働きのことですね。その働きのことを胃気と言うでしょ。胃の気ともね。それから穀気とも言います。これは胃腸の働き、消化の働きを意味する言葉ですよ。で、胃気があるというのは、その人の生命力が強いということです。だから飯を食う力が強いということです。「なんか飯が余計に食えんな」というのは、あんまり生命力が良くないんです。風前の灯。それから「御飯が食べられますか？」という質問をね。あの、肥えとつてもね、「いや飯が食えん」とか「あまり美味しゅうねえ」とかいうのあるですよ。それはちょっと悪いんです。で、飯が食えんと眠りが悪くなるんですね。「いやあ、眠られん」とか「眠りが悪い」とかいう人、これはまた困るんですね。飯が食えんで眠られんというのは、鬱の最たるものですから。今、世の中いっぱいですわ、そういう人で。こういう不景気でしょ、もうストレスがどんどん入ってくるんですね。で、それを除くのは鍼が一番いいです。抗鬱剤とかね、入眠剤とか安定剤とかはね、効きませんとは言いませんけど。お医者さんから叱られるけんね（笑）。鍼が一番よく効くんです。で、しかも結論から言うと、刺す鍼はだめですね。接触鍼か私の言う超浅刺、このへんでやっているとな眠りやすくなります。

で、例えばね、腰が痛いとか肩が凝ると。今の日本の鍼灸師というのは、そういう運動器疾患ばかりやってるんですよ。日鍼会でもね。で、内臓疾患は私は嫌いなんですとかいう人があるんですよ。嫌いじゃ困る。また、私のところでもそうですけど、要するに運動器疾患の患者が一番多いんです。アメリカは違うんですよ。後藤先生がね、後藤学園がアメリカで外来の患者の統計を調べたらね、運動器疾患は下のほうですよ。上のほうは何かと云ったら、鬱とかね、アルコール中毒、それからたばこの中毒。そういう神経系疾患とかエイズとかね、それから内臓疾患。で、下のほうに運動器疾患が来る。で、これが本当ですよ。だからアメリカは偉いなと。鍼灸師が偉いのか患者が偉いのか。多分患者が偉いんですよ。で、日本の患者さんは馬鹿とは言いませんけどね、腰痛ならすぐ鍼に行けと言わうんですね。で、例えば内臓が悪い時に「鍼してあげましょうか」と言ったら「いや、いいよ。それは病院に行くから」と必ず言うはずですよ。けども、内臓にものすごく効きますよ、鍼灸というのはね。運動器疾患より効くんです。で、内臓に効く、それから私が最近言い始めたね、神経科、精神神経科のほうに効くんです。そうすると運動器疾患ばかりやってたんでは、患者はジリ貧ですわ。ね、病院から取られるんですよ。大体まあ、鍼す

ればなんとか治るとかいうのあるでしょう。へたにやっても治るんですよ、その痛いとか凝りとかいうのはね。それで病院でちゃんと診断もしてくれる、レントゲンも撮ってくれる、で、鍼もしてお金が安いというんなら、そっち行きますわね。だから、そこへんだけやってたんでは、やはり医者が目の敵ですよ。

そういうことじゃなくて、違う方向に眼を向けると。他の疾患にも効くわけですよ。ただし、この神経系疾患というのは、そう診断が難しくないし、大体お医者さんもそういうような診断をつけてくれますけども。難しくないですよ、飯が食えんようになって眠られんたらそれは鬱の人だ、そう思ってもいいですね。後はいろいろある、体がだるいとかね、意欲が無いとか。だから非常にやり易いんですね。そこへんを広げていきますと、患者はどんどん増えますよ。それは皆さんが説得すると。患者さんに喋るようにしてね。そうではないとね、向こうからそういうので来ませんわ、鬱で鍼灸院に行こうとはね。「今日はなんとなく調子が悪いし、病院に行って点滴でもしてもらおうか」となるでしょ。そうじゃなくって、鍼をしたらサーッと良くなるんですよ。その場で。そういうのが分かってないからね、一般の人、患者さんが。それは皆さん方が教えておくというか、治療する合間合間にですね、なんとなくこう、吹き込むんですわ。あんまり宣伝臭い話じゃだめなんですよ。このへんがやっぱ話のもって行きかたがあります。嫌われるようなことじゃだめですね。やっぱり儲けようと思ってね、「こげない薬売りよるから」とか「こんな食品がいいよ」とか、そういうことやると患者さん嫌いますよ。だから嫌われないような説得の仕方というのがある。そういうことでね、私はいろいろ、例えばめまいとかね。めまいの患者が来たら「私はめまいが一番上手いんじゃ、世界中で一番上手いよ」と大ぼら吹くんです。「ほんとかい?」、「本当じゃい」。で、治療するとスッと治るんで「これは本当じゃろう」とこうなるんです。本当か嘘かわかんないですけども、非常によく治る。それから逆子でもね、これ非常によく治りますね。これももっと皆さん方が応用するといいいんですけど。まあ来年の学会の時に発表しますけども。

今ですね、スウェーデンから帰った歯医者さんがですね、(妊娠) 9ヶ月、だからもうすぐですよ。「それが逆子じゃ、先生なんとかならんかね」とお母さんから相談を受けまして。「ああ、なんとかなるわ。必ず治るけど、9ヶ月じゃ難しいけど、まあなんとかするわ」と。で、治療してですね。1回、2回。で「動くかい?」と言ったら「まだ動かんわ」と言って。(もとの位置に) かえてないんですね。で3回目の時にね、鍼してたら「なんか先生、お腹が動きよるわ」と。で、家に帰り着くまで動いてたんですね。で、4回、5回した後で検診に行ったら、きれいに直っていた。もとに戻っていた。で、お医者さんはね、

これはもう9ヶ月になるとね、どんなにやっても動かないと言うんですね。ピタッと入ってしまうんです。だからこっちも心配したんですが、それが自然と元に。で、その次に行ったらですね、やっぱ動く時はもう一回くるっと、もうちょっと上がって、それで首は反対向きにしたと。やっぱね、動くんですよ。「なぜもとに戻るんじゃないか？」って「さあ、私は知らん。知らんけどな、やっぱ赤ちゃんの気持ちがいいんじゃない、鍼がな。だから生まれた子は鍼が好きになるよ」と言うんです。で、そういうのがまたファンになるんですね。生まれる時は必ず安産になるから「三陰交にお灸すえなさいよ」と言うんです。そうすると、安産ですと頭のいい子が出来るんですね。頭のいい子というと、ものすごく親は飛びつくんですよ。だから皆にそう言うとかんす。「鍼灸すると頭のいい子が出来るんですね」、「子供に鍼すると頭良くなるよ」とか。(成績が)「3番位にはなるよ」って(笑)。私のところに高校生が治療に来たんです。それで治療した後にね、「婆ちゃん、私は15番も上がった」と言っ。「馬鹿、そんなこと言うな、お前の頭悪いのわかるやないか」ってね(笑)。(成績が)15番上がったんですね。それだけやっぱ自分の実力が出てくるんですね。試験というところがあがる人もあるでしょう。カーッとなっってこう、半分くらいしか実力が出ないということがあるんですね。私もそうですよ。あがってしまうと何言ってるかわかんないような時がありますね。そういうことで鍼というのはね、いろんな方向に効くんだということを、皆さんがその——テレビとかね、新聞とかが宣伝してくれませんかね、皆さんが宣伝しないとしょうがないですよ。で、そういうふうになるとだんだん患者さんが信用してくれるようになる。で、実際に言ったとおりに治っていくと、患者が信用しますからね。で、言うばかりでよう治らんということではですね、もうこれはいっぺんに駄目になりますよね。

で、そういうことで、脾胃の働きというのは、まず消化を主る。これは分かりますね。これは現代医学でも胃腸というのは消化ですからね。で、消化をする。それから水分代謝。これは水分ですね。余分な水分を体の外に出してくれると。おしっこでも汗でも何でもいいんですね。そういう働きが脾胃にはあるんですよ。肺にもありましたね。肺にもありましたけども、余分な水分というのが漢方では飲とか水気とか水腫とかいうでしょ。これは全部水ですわ。余分な水ですからこれ水毒といいます。余分な水だと。で、患者さんでもね、そういう人あるんですよ。「先生、心臓も悪くない、腎臓も悪くないちゅうけど、肺が悪いつて」。そりゃあまあ、本当は胃腸の働きが悪いと言ったってね、通用しないですよ。「私は飯はなんぼでも食える」と言っってね。その時の説明ですね。「それは東洋医学では脾臓器の異常というのは、水はけを良くするという働きが悪くなる。胃のはたらきが悪くなる。飯はなんぼでも食っても本当言うと良くないんじゃない」と。ちょっとベロ出してといっ

たときに、舌が白いとか黄ないと、「ほれみなさい」とね。「悪いですよ」とこう鏡に見せるんですね。で、そのように胃腸の働きが悪いと——外に吐かず働きがなくなると、「どっかに水が溜まりますよ」と。

それが膝に溜まって関節水腫ですね、胃に溜まるとポチャンポチャン、胃内停水。で、胸に、肺に溜まったのが痰です。で、体中に溜まったのが水気というんです。とこういうに説明するとね、分かったような分からないような。「はあ、なるほど」と。それで水気がずっと排ければいいんですよ。で、脾虚証でやるんですよ。太白と大陵を使う。で、中脘くらいですね。非常に良く効くんですね。だから、水分代謝ということですね。これをひとつ頭の中に入れておく。それから「意智を蔵す」というのがありますね。これはいつも言っているように、内臓には西洋医学でいうところの精神作用が五臓にあると。これはちょっと考えられないですけど、臨床では全くそうですからね、信じ込むよりしょうがない。私は信じこんでますね。まあ脳がなくては困るんですけど、五臓がしっかりしていますと非常に頭の働きが良くなってね。

でその、脾虚になった時の精神状態はどうかというと鬱です。一番の症状というのはね。鬱になる。飯が食えない、眠れない、やる気が無い、体がだるい、とこうなるんですよ。だから、そういうものが意と智という言葉で代表される内臓の気ですね。それを脾の働きを良くすることによって、だんだんこう、やる気が出てくるんです。やる気があるのと無いのと大分違うんですよ。これも今の鍼灸の先生方は言ってないですね。この精神科、神経科の、この意智の五精の働きというのを言ってないですからね。これもちょっと頭に入れておいて下さい。

それから5番目に血を統べるというのがありますね。血の調整をするというんですね。これはねえ、古典にあるんですかね、血を統べると。これ、私どうも中医学から得た感じがするんですね。中医学の中で血を統べると。で、古典を見るけどね、あまり血のことを書いたもの無いような感じがするんですけど。まあしかし、血の調整はしますね、出血するとかね、貧血だとか、それからいわゆる瘀血ですね、部分的に血がかたよって溜まったというようなことは、やっぱり脾が弱いと出てきますね。私もよく出血するんですよ。で、痰でなく血痰が出たりね、下のほうから出てくるんですね。ろくなことはないですが。それでもやっぱり気の調節。で、血痰がね、パカッと真っ赤のが出ると怖いですよ。昔、結核をやったですからね。で、夜中にパーッと出ると、「ああ、また起こったか？」とか「癌か？」とかね。で（医者に）行ってみるとなんてことはないんですよ。で、お医者さんも

何言うかという「この歳になりゃあ、どうかあるわ」って（笑）。歳とると古くなるって言うんですよ。気管が古くなるとそうなる。困ったもんです。で、私も患者さんに時々言うんですわ。「あんたこの歳になって、ちっとは古くなっていいじゃないですか」、「そりゃあそうじゃな」ってね。

で、それからその次は「四肢を主る」とね。手足というのは要するに脾の働きが届くところということで、肉体労働をやり過ぎると脾虚になるというのがありますね。そういうことですね。で、そういうことがあって、その脾臓の働きというのは、まず「気血ができる」、それから「水分代謝」、それから「精神的なもの」と、この3つをひとつ頭に入れておいていただけるとですね、脾虚証という、それから証をたてる時に便利なんです。

で、それは脾胃の内臓の働きですが、この鍼灸というのは臟腑経絡学説というように、経絡というのがあるんですね。経脈があって、絡脈があって、その経脈の流注ですね。経脈と経水、経筋、経別。その脾胃のそういうものを考えるとですね、経絡の道筋をちゃんと頭に入れておいてもう一回ですね、学生で習った頃の、胃経はどこであるとか脾経はどこかと。だから脾虚証という時は脾と胃とですね、脾だけじゃなくて胃の働き、胃経、脾臓、脾経とこの4つを全部ひっくるめて頭に入れて考える。そうすると全体像が浮かんできます。だから脾だけという、ちょうどお腹だけの患者さんいますけど、そうじゃないんだと。で、ちょっと時間が来ましたので経脈の流れというのはお話しませんが、要するに十四経發揮で習ったとおりのですね、その流れのグルグルとした流れですね、頭の眼のところからずっと下の先までね、で、内臓を通っていくということをイメージしながら脾の働き、脾臓、脾虚証というものを考えていただくと非常にこう、輪郭が大きくなってきます。脾虚であって腰痛というのも結構あるんですよ。昨日の患者でですね、坐骨神経痛でヘルニアで自発痛のある人があったんですね。で、脾が弱いんですよ。肝がちょっと強いんですね。けど、まあまあ肝が強い人で肝虚証でやろうかと、（痛みが）止まりませんわ。で、痛い痛いって言うんで結局、太白にやったら「先生、止まった」と。だから脾胃の脈が弱いというのは、そこの働きが弱っているんですね。その働きが肝のほうに影響して肝の脈が強くなるということなんですね。だから脾虚証というのはですね、非常にいろんなところに影響するということでもあります。もうちょっとありますが、早く5時にあげてくれと急かれますんで、この続きは明日またやります。迷える診断学というのが残っておりますけど。そういうことで終わります。ありがとうございました。

お知らせ

あの、金古(英毅)先生が紹介されておりました素問靈枢のですね、最善本のテキスト。日本伝統鍼灸学会で売っていると思いますが、これ1万ですが会員になると8000円ですかね、6000円ですかね・・・5000円ですか。ああ、そうですか。これは非常にいいテキストですから。それから、これがですね、先ほどの靈枢講義の洪江抽斎のですね、これは素問攷注、森立之。このセットがね、これまた非常にいい本ですね。で、ちょっと高いんですよ(笑)。高いんですけど、いい本ですから。今言いましたように100年間眠ってた本ですね。で、直筆のですね、まあ私は鍵小野先生に教わって字を習ってるんで、この直筆の字、国会図書館まで行って見ましたが、これまた本物はまだいいんですけどね、これでもかなりいいところが分かる。その字の形から見てね。小曾戸先生に言わせますとね、息子が書き込んだのは、字を見ればすぐ分かるそうですね。で、非常に学問的であると同時に文学的な雰囲気は私は好きなんで、これと靈枢講義とこの2つだけは読むんですよ。お金はまあ、一杯飲むの我慢してですね。オリエント出版から20何万ですね。再版が出ました。で、この素問攷注だけですね、金古先生の内経医学会から1万で印刷本が出ています。私も最初はね、その靈枢の字を見た時に、これは良い字だなと思うんですよ。で、なんと素問の字は変な字だと。だんだん見ているとこの素問の字のほうが良くなるんですね。非常にね、くせがあっていい。だから変なもんですね、うちの母ちゃんおかしいなと思って、長年見ちよるとだんだん良うなってくるのと一緒に(笑)。「母ちゃん、お前別嬪じゃの一」って言ったら、「そげな馬鹿なこと言う」とか言って。人の前では褒めそやすんです、「ああ、お前は気持ちもいいし、顔もいいしな」って。そういうもんです。はい。

迷える診断と治療 (3)

症例1：躁鬱病 55歳女性

症例ですが、躁鬱病ですね。鬱病というのは結構多いんですよ。たくさんありますが、躁病というのはですね、なかなか滅多にお目にかかれない。あの、靈枢の経脈篇にありますね。「高きにのぼりて歌う、衣をすてて走る」と。これ躁ですね。で、この躁鬱両方ある患者さんが来ましたのでちょっと出してみます。55歳の女性です。ある商売の店長をしています。既往症としては甲状腺機能低下があります。それからヘルニアの手術をしています。12年前から躁鬱病があると。で、薬を飲んでるけど一向に良くならないと。いい

時はスーパーマンのように頑張るんですね。悪くなるとガタンと落ちちゃう。これの差がひどいというんですね。で、鬱になるとですね、話をしない、電話も出ない。じっと引っ込んでいるんですね。今度は躁になると、まあ仕事バリバリで。それが躁の特徴ですけどね。落ち込むと2〜3週間、人にも会えず幽霊みたいになる。この3週間はですね、躁が続いているんですね。2、3時間の睡眠しかしてないから眼が痛い。で、涙を流しているんですね、眼が痛いんだけど。便秘があってですね、通じ薬使うけどどうもくまない。おしっこも出ない。甲状腺の機能低下があって、機能低下だからこれは粘液水腫ですね。そうするとブクブク太ってくる。で、バセドーになると反対に痩せてくるんですね。で、ホルモンが少ないということですよ。1年で15キロ増えたと。「まだ増えてます」と言うんですよ。で、眠りも悪いし、食欲も悪い。自分で健康管理が出来ないと。でもう、情けないんですね。勝ち気なだけに涙を流しながら泣き声で言うんですよ。

脈は脾虚証ですね。非常に沈んでいる。最後のほうで座ってこう、後ろ頭を採ったんですけど、もう触られないんですね、痛くて。天柱、上天柱、風池あたりはこう、よけるんですよ。それほど痛いというのがあってね。それから至陽、靈台。この督脈上に圧痛があって、お腹はまあ非常に膨満感ですね。で、心窩部にやや硬いところがあるということですよ。で、躁鬱病ですから、いつも言うように刺す鍼というのは良くないんですね。で、超浅刺をやったわけです。で、中腕をやって気海をやって、それから巨闕のところを硬いので巨闕をやって。それからこの時は公孫—内関という奇経を使っていますね。それから足の三里。で、普通は太白、大陵あたりを使うんですよ、私の場合はね。で、これどういうわけか公孫—内関を使って。まあ、お灸をすえる関係でしょうね。で、陽輔。これはちょっと肝が少し実しているということで胆経を瀉した。で、顛会、攢竹。で、腹這いになりまして至陽、靈台、心兪、脾兪。だいたいこういう使い方やるんですよ。脾虚証の場合は脾兪と心兪。肝虚証の場合は肝兪、腎兪。腎虚証の場合は腎兪、肺兪という使い方、そのへんで一番凹んだところに超浅刺をやるわけです。

それから志室と腸骨点というのは腰痛、そして腰の手術していますから圧痛がありますからね、これもついでに。で、飛陽をやって肩井ということで失眠穴にお灸をすえた。だいたい眠りが悪い時はここをすえるんですが、すえても熱くないという時は良く効くんですけど、この人は3壮で熱いと言った。で、1壮で熱いと言う人もあって、これはまあ、ここだけは特別熱いんだという人が多いんですけど。で、座位で天柱と風池をやりました。だから治療は非常に簡単にやったんですけどね。2日目にですね、私んとこ休みの日に出てくるんですね。で、その御主人が、「あんまり調子が良くなって、鍼行こうや」と。自動

車で2時間半かかるんですよ。で、5時頃来たんですけどね、「もうせん」と言うほど、それほど私も偉くないですから。せっかく来てくれたんですから気を取り直してやりますか、ということでやったんですけどね。で、2回目久しぶりに欠伸が出て眠いと。眠い感じが出てきたんですね。で、治療した時はですね、ぐっすり眠ったそうです。で、1日にお通じが4回あったと。「今までの便はどこへ行ったんでしょうか？」って、「それはどっか他所んちに行ったんじゃないか」と言って、うちの母ちゃんの胃袋と一緒に。腹いっぱい食べて、また食べるんですから。私は腹八分じゃないと後で食べ過ぎになる。「お前の胃袋はゴムで出来ているんじゃないか、プツとこう、前か横にふくれてくるぞ」って。それと同じで「どこ行ったんでしょうか」なんて、それほどよく出たんですね。「先生、下腹がなんかへっこんだわ」と言うんですよ。で、話し方が非常に明るい。最初に診た時はもう泣きながらですから。これは顔を見ただけで分かりますよね。鬱の時はもう、うっとうしい顔してね、笑顔が無いですね。(治療をすると)非常に明るくなって、そうするとこっちは気持ちがいいですよ。で、よく失敗したんですが、ここで調子にのってやり過ぎるんですよ。で、鍼をサッと入れたりね。つい入れたくなるんですよ、鍼灸師というのは。何かと一緒に(笑)、もうグツと中に入れたほうが良いという感じがするんですが、そこをグツと我慢しないと駄目ですね。で、グツと我慢して超浅刺でやるということですね。

3回目は、話ぶりは普通ですね。で、あくびが出ると。この時は肺虚証ですね。その次は1週間先です。で、もうこのへんですとね、鬱はとれて躁になってくるんですね。で、その後は脾虚証。電話がかかって来るんですよ。「先生、体重が減った」と言って。よほど嬉しいんですね。それで最近は太った女性が多いですから、「私にもその鍼して」と。「それが効くなら、うちの母ちゃんに一番にするわ」って(笑)。母ちゃんの妹も「私もするわ」と。なかなか体重は減りませんね。耳の鍼でいけるというのは、どうも眉唾ですわ。2〜3キロ位しか減りませんよね。だから私は痩せる鍼というのは一向にやらない。私は上手くない。ただ、この人みたいにホルモンとか水分、水毒があって腫れている人はずっと取れるんですね。で、正常になると水分が外に出ますから体重が落ちてきます。

それから6回目の時は失眠穴、右が10壮ですね。10壮で熱くなったという時は、熱く無いほうにどんどんすえたほうが良いですね。そうすると効きます。

7回目ですね。ここでちょっと1ヶ月、間があいていますが、やっぱ鬱が続いていたんですね。もう、ピタッと音信不通になるんですよ。で、肩甲間部が痛い、肺俞に硬結があります。肺虚証ですね。その次も肺虚証。それから6月8日、9回目は肺虚心実と。肺

虚肝実というのもありますけども、この場合は実です。で、治療しよるとですね、最後のほうはかなりこう、ポコーンと落ち込むんですね。で、「はい終わり」と言ってもですね、そこで眠るんですよ。うちの母ちゃんが心配して車までついて行ったんです。ナルコレプシーじゃないけど、ああいうくらいフツと眠るんですね。で、ちょっと心配したんですが、今も来院されているんでなんていうこともないんですけどね。で、だんだん良くなってきましたが、まだ完全には良くなっていません。5月からですから6、7、8、9と3〜4ヶ月ですから。一応、治るという目鼻はついたんですね。患者も非常に喜びます。今まで12年間、鬱と躁の繰り返しで苦労しましたからね。これだけ良くなったというのぞみがあるんですね。「新幹線です。のぞみがある。ひかりじゃないよ」とかね(笑)。そういうことがよう分からないで、しばらく後になって笑うんですね(笑)。そういうことでまあ、この人の話しによりますとね、商売が非常に大事な時は鬱にならないそうです。で、商売が上手くいって、さあ友達と温泉でも行こうかなというような時になると鬱になるんですね。なんかヒステリーに似てますね。ヒステリーはバタッとひっくり返るんですけど怪我しないように転ぶんですね。だから都合良くいくんでなんかおかしいと思うんですが、そういうこともあるかもしれない。まあ、調子良くいけばいいんじゃないですかと言ったんですが。

この躁というのはですね、非常に意欲満々で自信過剰に陥るんですよ、基本的な症状としてね。ですから少し躁がある時はいいですね、仕事が出来て。で、こういうところでも少し躁があるといい話しが出来るんですね。これが鬱になるところ、落ち込みますから話はなんとも面白くない。その躁があんまりなると、常軌を逸するようになります。自信満々でね、仕事もどんどん引き受けて、夜中に電話しまくってね、誇大妄想的な考えがどんどん膨らみます。そして性的な逸脱というのが。だから若い御婦人の場合なんかは、それは困るわけですね。そういう時はすぐ病院に連れていかないと危ないですね。有名な小説家でそういう人があるという話を聞いたんですが、躁になった時は強姦するらしいですね。その後の賠償金や話し合いが大変だという話を聞きました。最近、脳の研究が進みまして、MRIやCTやサーモグラフといった画像診断などでだんだん脳の働きというのが解ってきた。どうも前頭葉におかしいところがあったんですね。で、鬱の場合はブロードマン9野と24野にACR(アセルカルニチン)というものの取り込みが少なくなるとACRは前頭葉に入れなくなる。ACRとは神経伝達物質、要するに脳内ホルモンを作る材料ですね。そうしますと脳内ホルモンがよくできない。その結果、鬱になる。鍼をすると(脳内ホルモンが)必要な分量だけ出るんだと説明すると、そういうふうに皆納得するんです。仮説です。私の仮説ですが、多分そういうことだろうと。ところが躁病になる

とここの血液量がものすごく増えるんですね。だから多くても少なくても悪い。さっき言ったようにこの人は甲状腺の機能が悪いんですね。この甲状腺のホルモンがこの人は不足している。で、頭のコルモンが不足すると鬱になるし、出過ぎると躁になる。というふうには私は理解しています。私は鬱病には鍼が良く効くけど躁病にはどうかなと思っていましたが、今、この一例だけですけれども、躁病にも効くということが解るわけで、多分これは全ての躁病に應用できるんだろうというふうに思いますので、躁、鬱、両方の面から私はやっております。

そうしますとね、昨日もお話したように、この分野で手をつけていきますと、そういう人は沢山いますからね、どんどん流行るようになります。その条件は「あまり刺さない」ということと、「気がわかる」がいいんですね。わかんない人もあるんですよ。私も初めの頃はわからなかった。わたしは25年～30年はわからなかったですからね。最初からわかるもんじゃありませんけども、その「気至る」ということを頭に入れながら治療しているとですね、ある日突然わかるんですよ、これが。これは剣道の極意と同じですね。宮本武蔵ね。私はチャンバラ好きでして、子供の時に勉強しないで講談本ばかり読んでました。真田十勇士とかね、霧隠才蔵とかいっぱい憶えています、他の勉強をすればよかった。で、その武蔵でもですね、ある人について剣道の修行をしますよね。そうするとある日突然、師匠が呼ぶわけですよ。「ちょっと来い、ここに座れ」と。で、巻き物を見せるんですよ。巻き物にはね、大したことは書いてない。普通の人を読んだって面白くもなんともない。その人がその境地に達した時に見せると「ああ一つ」と言うんです。それで全て氷解、それが免許皆伝の腕前ですね。で、ここに至るまで、だから「気至る」というのは鍼灸師の免許皆伝ですわ。で、そこまでのその修行が大事なんですよ。

だから一足飛びに免許皆伝、これはあり得ないですね、残念ながら。私にも子供があれば、その子供に免許皆伝してやりたいけど、それは出来ない。体験の都合で、その人の経験を積んでね、苦勞して。で、その時に気至るということを考えて鍼をしていくと割と早くわかる。今までそういうこと言わなかったから、皆漠然と鍼してたんですね。志がある人だけが理解できるわけです。「気至るというのはわかったほうがいい」と、さかんに私を書きますんで、皆「それはそうかな」と思いながらやっているわけですよ。そうするとある日突然わかるんですよ。そしたらもう。一回わかるとね、悟りと同じでサーッとわかるんですね。だからね、こういう人がありますよ。接近鍼。接触鍼じゃなくて、そのツボに鍼を刺さずに近づけただけで、「あ、気が来たな」というのがわかる。そのへんになると私も弘法になるんですけど、まだ私はそこはわかりません。わかりませんが、私の体

に例えるとですね、太白に指をもっていきますわね。そうすると鍼しないでもやっぱりググーとお腹が言うんです。条件反射というわけではないですね。やっぱり気が生きてるんですね。その指が効くんですから。まあ、それで気が通っているというふうに思いますね。ですから、そういう気至るといことがわかるという、そこを考えながらやる。で、浅く浅く。そうするとこれは精神疾患に非常に良く効きます。で、痛くないからね。ピリピリ来ない。昨日、野上先生が言ってたように、「鍼食い」はちょっと困るんですね、これは。鍼だけが好きという人があるんですよ。よけい治らんでもいい、鍼がピリピリっとするのがいいという人があるために、昔は私も深く入れてたですからね。後で実技でやってもいいのですが、5寸の鍼も使っていた。これはお尻にするものですね。でまあ、2寸くらい平気で入れてたですね。後ろ頸なんか寸6で入れてた。そうすると「あの先生は深バリをするからいい」とかね、田舎ではそう言うんです。で、ビリッと来るんですね。ところがビリッと来るといいという人はだんだん少なくなってるんですからね、今は。ビリッとばかりはよくない。ピリもよくない。何も来させないのがいい。うん。そして治療が終わったら「ああ、先生もう終わったの」って。初めての人はね、やっぱり汗かきながらこう、ビクビクしてるからね。で、「良うなったわ」って。それでもう、私の信者になるんです。

第一日目がですね、皆さん治療家と患者の真剣勝負です。で、勝負あったということになると患者は来ます。必ずそうなる。一回で治っても、またその次悪くなった時に来るし、（他の）患者も連れてくる。勝負に負けたら来ないです。どんなにかっこいいこと言っても。だからそこらへんがね、まあやっぱり経験しないとその感触がわからない。私が言ったってわからないですから、それを皆に教えようと思っても。そのへんは苦勞して下さい。苦勞と思わないで勉強だと思って人生を楽しんで下さい。だからあんまり最初から楽しんでね、いい生活して死んだって面白くないです、世の中は。やっぱ苦勞してね、お金も無いというような経験をして、そしてやっとなりだしたという人生が面白いんですよ。まあ、皆さん金が有りそうな顔してますけど時々はね、金が無いような生活を、「どうしようか」という。

というのはね、だんだんと金も無しというような経験は出来ない。私はもう、しょっちゅうそういう経験をしましたし、病気もですね、死ぬような病気を何回もしたから、その病気の辛さというのはよくわかるんですね。病気した時は「俺はなににも要らん」と。「元気になればもうそれだけでいいなあ」と。10年間も我慢しましたから。治らないかもしれないと思いながら生きてきたんです。そしたらとたんに10年たったら良くなったでしょう。すると健康だけあればいいかという、金が無いのもこれは困る。仕事始めたら患

者さんが来ないんですからね。これまた辛いわな。貧より辛いものはないと言うけど、まあどっちも辛いですね。病気も辛いですけど、やっぱり金が無いのも辛いですねえ。けどもそういう経験を何年か何十年かしたおかげで、金が出来てもその時の感情を忘れないですわ。人の痛みというのがわかるんですね。やっぱり苦労している人の気持ちもわかるしね。だからそれは私にとって非常にいい勉強ですね。かえがたい経験だというふうに思っておるわけで、決して皆さん方がね、どういうその人生を歩もうと、その歩んだ道というのはその人にとって一番いいと思ひ込むんです。人と比較しない。こっちの人はね、良い車を持っていて患者さん（が沢山来て）流行るけどと羨む必要は無いです。これが俺の道。これが俺に今与えられた勉強法だと。今日は岩田さんからパソコンのスキヤンのやり方を1ページから習った。全部メモしたから、忘れてもそれを見るとたいていわかる。で、やっとわかったですね。そういうもので一步一步自分の道を歩いていくということが大事ですね。そうしますと人を羨む必要は全く無い。

それで今日は実技をやりますが、弦躰塾の方は今までずっとやっていますんで、塾生でない方で希望者がある人はひとつ出てきて下さい。私の鍼は痛くないから。

超浅刺の練習

皆さんに鍼を1本ずつ配りました。私の場合はちょっと特異なんですけど、切皮は軽くやってね、皮膚に鍼尖がくっついた時点でこう回旋するんですね。人指し指は固定して親指をこう動かすわけです。これはなるべく小さく四分の一回旋くらいね、大きくすると気持ち悪いですから。で、中国鍼の人は親指を固定して人指し指でこうやるでしょ。私のほうは人指し指を固定して親指をこうやるんです。この回旋で皆さん1分間に何回できるかちょっとね。用意始めでやりますからね（笑）、やってみて下さい。大体私がね、一番行く時は380回は行くんですよ、普通はね。医道の日本の編集長の山口さんは「私150回しかいかないから、やっぱり名人と名人でない差が出るんでしょうか」と言うけど、そんなことないですよ。速いからいいもんじゃありませんけれども、私の場合は非常に速い。速いと気至るのも速いです。で、仕事が速くなるということですから、何回行くかね、ひとつやってみて下さい。えー、ボチボチ始めますよ。用意、はい。

はい、そこまで。ということです。で、100回以下という人（笑）。ちょっと手をあげて下さい。それから200回前後の人。300回の人？ 大体200回いけばいいほうですね。そういうふうに非常にこれは個人差があるんですね。私は左右両方同時にやって

みるとですね、やっぱり左は右の半分以下ですわ。これはもうしょっちゅうやっているからしょうがないですね。で、こうやって（回旋して）るうちに少し入っていくんですね。入れる必要はない。ただ回せばいいんですよ。回していると少し重たくなっただという感じ。はっきりわかりません。入れてるんじゃないからね。で、少し重たいなという感じのところは気が来たということですから。それでもう、パッと閉めればいわけですね。そういうのが超浅刺のやり方です。はい、じゃあ治療します。

実技

モデル1：女性

首藤先生：〔仰向けで足首を触れながら〕で、中年でね、こう前の脈（太衝あたり）が少ないからね、もうちょっとあったほうがいいですね。だから後ろの大谿の後脛骨動脈が触れないとなると、手術が必要なんですね。私の鍼では効かない。なんか風船入れてこうやるのね。〔拇指の背屈テストをする〕はい、親指をキュッと曲げて、引っぱり上げて。これで足背、足の指の力を診るんですね。これが弱い人があるんですね、たまに。これはL5、4あたりの異常がある。で、今度は下向けにパッと曲げて。これがね、底屈。親指の底屈の力が無いということは、これはあまりないですけどもたまにあるんですよ。これは上のほう、L3まで。で、L3のあたりになると、今度はこのへんが痛むんですね。あの、大腿皮神経ですね。ここのへんがピリピリする。で、こうやって・・・〔モデル痛がる〕これ痛いんですね、はい。ここだけ痛い場合があるんですね。それはLの3。で、もうひとつ。古典派がこういうことするのは良くないと文句言われるんですけどもね（笑）、私はやる、これ SLR ですね。これでまあ、痛くないという時はいいですが20～30度で痛いという時はもうやっぱりヘルニアのね、疑いが非常に強い。で、腰を曲げて（外に）倒すとパトリックテストですね。これも結構多いですよ。このへんでもう痛いというね。そうすると股関節に変形があるということですから、やっぱり股関節をする必要もあるし、場合によると年齢から考えて手術ということもアドバイスする必要があるんですね。で、これはSLRの変型ですが、時々こうやって足首をグーッと引っぱるんですね。これはブラガードです。これで痛いという時は少し悪いということですね。（このモデルは）理学テストでは異常が無いということになります。



拇指低屈テスト



SLR



PTR

あの、一応お腹はですね、「先生、私は手が悪いのにお腹を診たり」などと患者はいろいろ言うんですね。で、「あんたが腹黒いかどうか診る」とか言うでしょう（笑）。で、納得するんです。「真っ黒じゃ」と言って。で、まあ初めての人は岡部先生の言う撮診をやるんです。そうすると、ここがちょっと痛いんです。これも痛い。[モデル痛がる]で、これは胆のうでこれは胃か膵臓かどっちかですね。そういうところが——これ押さえてもどうもないですからね——少しの異常があるということで、こういうところは気をつけたほうがいいですね。まあ、この人は腰ですね。どこが悪いかわかんないですけど、一応（綿花で）拭いておきます。たいがい使うのは1寸の0番ですね。セイリンを使っています。[中脘、気海に刺鍼] 中脘と気海というのは鍼をすると脈診が非常にはっきりしてきます。「鶏鳴」という、「朝方は非常に脈がよく分かって診断しやすい」と書いてありますね。動き回ると診断しにくくなるんです。だから気海と中脘をやると脈の強弱が分かってきます。頭でもいいんですね。井上恵理先生なんかは頭をやってるんですね。それでお腹をやって、さきほど金古先生がやったように散鍼をする。私は散鍼はあまり上手じゃないのでやりませんけど、これでまあ脈を診ると。「舌を出してみて」。まあ、あまり舌苔は無いですが正常ではないんですね。もうちょっときめ細かくて苔が無いほうがいい。まあそういうことでございます。なかなかややこしいですが。

脾虚証でとるか肝虚証でとるか。ツボとしては曲泉に出とりますから——私はどうも、やっぱり弱いほうをとということで——まあ置鍼をしてもいいんですけどね。気をもらさないためには、なるべく単刺のほうがいいですね。[太白に刺鍼] えー、皆さんが見てるんで手が動かない。今、1分間に150（回旋）です（笑）。これが5分すると、どんどん動き出すんですね。それだけ気が小さいんです。困ったもんですね。これは生まれつきでもうしょうがないんです。だいぶ修行したんですけどね。鍼そのものは非常にあの——私は患者さんに言うんですけど、「子供だましですよ」とね、鍼は。それが効くから不思議でしょうがない。でもう、今まで（深く）入れている時はですね、まあ私は真剣になってこう入

れて、こうやってたんですけどね、そんな操作いらないから。散々ですよ、もう。散々ではないという人もあるんですけどね。まあ、一生懸命やってるから散々なかもしれない。大陵穴。事のついでです。で、こういうところの胸の症状とかね、のどの症状がある時はやっぱり心包経も使ったほうがいいですね。胃腸とか鬱だけなら太白だけでもいいです。で、腹がグーグー言うてますから、効いているというサインなんです。これで肝の強いのがおさまれば、もう肝をいじくる必要ないです。どっちからやってもいいんですけど、井穴を使うんですね。で、隠白に瀉をやると肝の瀉になります。えーと大敦やってみます。御飯おいしい？

モデル：そうでもないです。

首藤先生：で、あの、肝虚証でも御飯おいしゅうないですわね、つかえて。その時には曲泉やるとスーッと胃が空いてきますが、脾虚証の場合の胃というのはなかなかね、すぐにスツとならん。しばらくやっているとスツと楽になってきますね。これはまあ、瀉ですからね。同じ経絡を補したり瀉したりいいかげんですけど。あまり脈はね、強くないですよ。沈んだ脈で柔らかいですから、どんどん瀉す必要は無いですね。たとえば胆経がビンビンしているような時は、丘墟とか陽輔を使ったりしますが。あの、陽陵泉を診るとね、やはり右が痛いです。そうするとこれはやっぱ胆のうは用心したほうがいいですね。ここ押さえとってね、時々これ（右臨泣穴）痛くなったら石が溜まって来るんですから。癩癧持ちはね、これ石をつくりあげてる。はい、うつぶせになって。〔モデル伏臥位になる〕患者はやっぱり知らないことが多いしね、検査してもそれは出ないですからね。そこへんが悪いですよということを時々注意するんですね。余談になりますが、尿管結石の場合ですね、このくらい叩くと飛び上がるんですね。ですからこう軽く叩いてみて「アタッ」と言った時は違うんですね。



脈診



腹部の刺鍼



背部の叩打痛テスト

〔腰部に刺鍼する〕これですね。これは腸骨点、私が言うね。普通、志室はこれですよ。

で、志室はね、(反応が) そうでもない。これが大腸俞ですね。少し堅いですね。で、この腸骨点の痛い人は曲げたり伸ばしたりが痛いんですよ。右側ですね。私は局所の治療の時はしるしをつけるんです。これは私の師匠のやり方なんでね、間違わないように。この辺なんですね。これが志室でしょ。で、この辺のどこかこう、腸骨に向かって押さえるんです。これはツボじゃないですよ。腸骨点と名前つけて出したんですけども、そしたらこれはね、中国で腰宜というツボが出てますと。先を越されたんです。商標登録が遅かった(笑)。昔は、というか超浅刺やるまでは、これを串刺ししていたんですけどね。良くないですね、この堅いところにやったって。これ超浅刺をやるとね、割と早う取れるんですよ。で、お尻をこう押さえてみてね、ここ(殿圧)に痛いところが出る人、硬いところね。そうするともう下まで出てるんだということになります。この人はまあ、お尻は出てません。これはFNSですね。L2、3、4の。脾虚証ですから、だいたい脾俞あたりを探るんですね。で、こう、凹んだところがあれば、これはやっぱりツボです。こっちは無いですよ。だからこれがいいです。これが心俞あたりですね。これ凹んでると痛いんです。だよな？

モデル：はい。

首藤先生：これが硬くて痛いんです。で、ここへん(左心俞)が硬い人はね、気疲れ。神経使う人ですね。そうすると左だけがおかしいんです。右はどうもない。右側が硬い人は手を使うんです。肉体労働者は右。頭脳労働者は左。こういう凹んだところは、非常に俞穴としては使い勝手があるところですね。だからこういうふう凹んでないところは、なかなか私は面白く無いから使わないんです。で、左の脾俞と左の心俞ですね。で、これは膈俞ですかね。そうするとね、やっぱこの人少し胃が悪いということが考えられますね。これはどうしようかな。入れてみようか、昔やってたように。今はね、あまり入れないんですよ。入れるとどうしてもね、パッと効く時は効くんですけど、失敗する時があるんですね。却って悪くなる。超浅刺でやったほうがいいと。で、少しこういうふうに入っていく時はいいんですよ、入れたってね。これ少し入ってるんです。今はいいところに来てますから多分気持ちがいいはずですよ。ね？

モデル：はい。

首藤先生：うん。ビリッと来るんじゃなくて、なんとなく来てますんで。要するに鍼する人が気持ちがいい時は患者も気持ちがいいです。そうするとこう、ツバが出てきます。ああ、こりゃいいと。えー、大腸俞ですかね、ここは小腸俞のところです。これはもう、あ

なりに硬いとことかね、反対に一番凹んだところでいいです。あの、朝方痛いという人があるんですよ。目が覚めた時に痛い。起きたら良くなるとかね。起きる動作で30分位悪いという時は、こういう浅い鍼がいいですね。深い鍼は悪いですよ。朝のこわばりとかね。



小腸兪

FNS

腰部の灸

まあ、膀胱経はですね、私は2つ位決まってるんですよ。跗陽か飛陽か。どっちを使ってもいい。こう、なでておかしい処をこうつまむと痛い。圧痛はあまりないですね。こういうところは置鍼でも構いません。これはまあ瀉ですから。あとは流すと私は言うんですけどね、あんまり力を入れないですよ。力を入れるのは要するに太白とこの腸骨点か大腸兪とかね、この辺だけでいい。あとは力を抜くと、その力を入れたツボが効いてくる。これ全部同じようにやるとね、良くないですね。だからアクセントですね。メリハリがあったほうがいい。後はもうサービスですわ。だいたい起きてやる、座ってやるんですが。だからやっぱり、こういう人は少し鬱が入っていますからね。超浅刺やるとその鬱が取れちゃうから、腰がね、非常に良かったような感じになるんですよ、本当は良うならんでもね。で、良うならんでもね、「あ、大したことないわ」と思うようになるんですわ、不思議なもので。それでも腰の痛みが取れりゃ、なお万々歳です。えーと、お灸をすえるといいですね。私のところですよ。する時は大腸兪と腸骨点と3ついこう。眠りはいいですか、あんまり良くない？ ゆうべは良く眠れました？

モデル：昨日はぐっすりでした。

首藤先生：アルコールの勢いじゃないかね(笑)。私はゆうべは久しぶり、パパッと飲んで、歌が3曲出た(笑)。まあ、聴かせられたほうはたまらないなあ、辛抱して(笑)。カラオケを鑑賞する会なんてね。上手いですよ、鍼より上手いかもしれん。(お灸は)3壮でいいです。[芝原先生施灸する]芝原先生はアメリカの人に有名なんですよ、お灸がね。「オウ、ビューティフル」と言いますわ、向こうの人は。(お灸が)熱かったら言ってね。熱くなか

ったら熱くなるまでやるし、熱いときは1壮でもいいし。だからこの人の場合に時間を稼ごうと思ったらね、たとえばこの脾兪の左と左の心兪、それから仰向けになって左の梁門と左の太白。鍼入れて置鍼しておく。私の場合は昔は何十本も置鍼してましたけど、今はあまり置鍼しないですよ。1本か2本くらい。まあ営業政策上、それはいいですけどね。熱くない？

モデル：はい。

首藤先生：全然？ じゃあ、効きますわ。これは効きます。これでちょっとやってみて。押さえないでやってみて。熱い？ ちょっと熱いか。左は1壮ね。じゃあ右側だけだね。非常に効くということです。こっちもやっぱ右側が少しね、よけいに硬いから。はい、終わりです。この方の場合は脾虚でいいですね。脾虚で肝か胆を少し治療すると。そうすると頭のほうも良くなる。基本はやっぱ胃腸ですわ。

モデル2：男性



脈診



腹部の刺鍼

首藤先生：〔脈診をする〕この人はね、さっきの人は柔らかいですが、この人は緊張しているんです。緊張するタイプですね。こういう人はやっぱり緊張すると血圧が上がりやすいということなので、まあ今はいいですけどね、将来は気をつけたほうがいい。なかなかこれが性格だからね、のんびりしなさいと言ったって出来るわけじゃないですね。だからこういう人の場合、このビンビンとした脈が鍼によってどのくらい柔らかくなるかですね。で、スーッと柔らかくなるとこれはよく反応する。治りやすい。緊脈は病因としては肝なんですね。痛みか、ひきつるような痛みがあるということです。この人はやっぱり肝経が

おかしいですね。脾を補います。はい、ひとつちょうだい。まあ、太衝を補ってみます。



太白



攢竹



耳の触診

〔太衝に刺鍼〕太衝を補うと脾を補って、しかも硬い脈を柔らかくする。原穴はそういう働きがある。迷わないでパッとその瞬間に決めると。で、こういう人はね、入れようと思うとちょっと痛いはずですよ、皮が硬いから。だからもう、接触するだけでいい。太敦もまた効くんですよ。〔太敦に刺鍼〕こうやって置鍼しとけばひとりで効いてくる。「痛うても痛いと言わないで」(笑)。二人の演技で。で、最近はですね、やっぱり眼が疲れる人が非常に多いですから、一番使うのは攢竹ですね。細い鍼を置鍼してもいいし、超浅刺でもいいし。超浅刺が難しいなと思ったら、こう竜頭と鍼管を持ったままつまむだけでいいんですね。こうやるだけで刺激はいくんですよ。上からこう押さえる必要ないです、横にこうね。非常に眼が涼しくなります。それから眼鏡かけた人、パソコン使う人。そういう人はね、ついでにいろいろやってあげるんです。説明しながら。あの、めまいの患者さんが多いんですが、この人は耳から来るめまいじゃないかなという時はこう翳風のところを診て、そうすると左側が硬いです。〔耳を触診する〕で、この耳は両方硬いから、これは両方痛いんです。これが腰の付近になるんです。これはあまり痛くない、ちょっと左側にありますね。

モデル：そうですね。

首藤先生：これはね、内臓。これはね、かなり内臓分かるんですよ。癌になった人は必ずここを探ったらね、大豆大みたいのが出ています。肝臓の人はここです。今押さえてるとこ。ここにグリグリが出ています。大豆みたいなね。

受講生：中に出ているのですか？

首藤先生：表面に。触ったらすぐ分かる。素人でも分かります。〔脈を診て〕あ、これはね、

この人は純真ですわ (笑)。非常にね、こう肝虚証みたいになった、うん。やっぱり肝はどうにかしたいなということですから、これはもう大成功ですね。それから脈もね、さっきよりも柔らかくなった。で、こっちがファーっとう下がって来た。要するに左の脈がグーッと硬くなるほど頭にくるわけですね、腰へんのところが。これが柔らかくなるとしめたもの。やっぱり脾を治療したというのが一番ね、私は良いと思います。はい、今度はね、横を向いて下さい。〔側臥位になる〕なぜ、横にしたかということ、たぶん眼鏡かけているから眼を使うだろうと。これは柳谷風池という、私はよく使うんですけども。普通の風池はここですね。これはあんまり硬くない。これはそうでもない。ここには硬いのありますよ。



柳谷風池

この硬いのはあんまり良くない。だから眼の悪い人はこれを使うと、要するに緑内障とか白内障とか眼底出血とかありますけど非常に良く治るんですね。眼医者さんが喜ぶ、「おー良う治ったね」と。それはこれを標治法として使う。これはちょっと入れてみましょう。これは昔のなごりでね、ちょうどいい処に今、だんごの串刺しです。ちょうどね、いいところへ来てます。で、患者さんは分かるんですよ、「ああ先生、いいところに来たと言うたが、そこやそこや」と。で、これでまた置鍼しとくわけです。こっちのほうがいいですね、右のほうが柔らかいですから。これはあの、男は陽で左ですよ、陰陽応象大論。だから右が悪いという人はやっぱり「あんた女関係あるじゃろ」とね (笑)。ビクッとする人がおる (笑)。ちょっと用心なさいという。だから女性でね、独身で左が悪いというのは、これはもうしょうがない。男性の役目してるから。だから後家さんはやっぱり左が悪いんです。後家さんじゃのうて左が悪いというのは「あんたはかかあ天下」だと。大概当たるんですね。だいたい今の女性はかかあ天下やけどね。はい、うつぶせになって。〔伏臥位になる〕

あの、今の柳谷風池は慣れている人は最後に起きて座ってね、パッとやってもいいです。

〔足に触れる〕私の跗陽はちょっとツボの位置が違う。この腓骨の骨の際々。これは押さえても痛いし、つまんでも痛いです。だからこういう両方痛いのはね、非常にツボとしては効くんです。浅くても深くても。患者さんで治療中に足がひきつる場合があるんです。その時は大概ね、附陽とこの環跳ね、この2本入れておくとたいい治まりますわ。



跗陽



腸骨点



上仙の灸

〔腸骨点・上仙に刺鍼〕だから私の治療はそんな難しくないですよ。だいたい一緒のようなことばかりやっている。で、こういう筋肉質な人は鍼を入れたらそれは響くんですよ。で、いっぺんに嫌いになるんですね、鍼が。もう大概こういうふうにブスッと入れるから。スポーツ選手とか脂肪の無い人はね、入れたらだめです。はい、芝ちゃんもう一丁。〔芝原先生、お灸をする〕あの、私の場合は治療が終わって検脈するという事はまず無いんです。本治法の時はね（診ますけど）。はい、終わります。

モデル：ありがとうございました。

首藤先生：だいたい、こういう治療ですね。これだけのツボを取るわけですから、全部同じように余計やると、もう時間は無いし、ツボは多いしね。だから、このツボを取るのが難しい。本治法はしますけども。たとえば腰の関節が悪いということはね、そうするとこれは脾虚証ですね。とすると太白、大陵を必ず使って中腕穴。で、あとはその関節の周囲で一番痛いところを1穴か2穴使うんですね。たくさん下ろすのは下手なんです。そこへの取捨選択のやり方は要領がいいんです。で、もううるさい時はそーっと接触鍼だけでいいんです。で、本治法だけ丁寧にやる。それで結構治るんですね。はい、以上でございます。

文責：高嶋正明